

平成21年2月19日

平成21年2月13～14日

富士山周辺で発生が懸念されたスラッシュ雪崩に関する報告

国土交通省

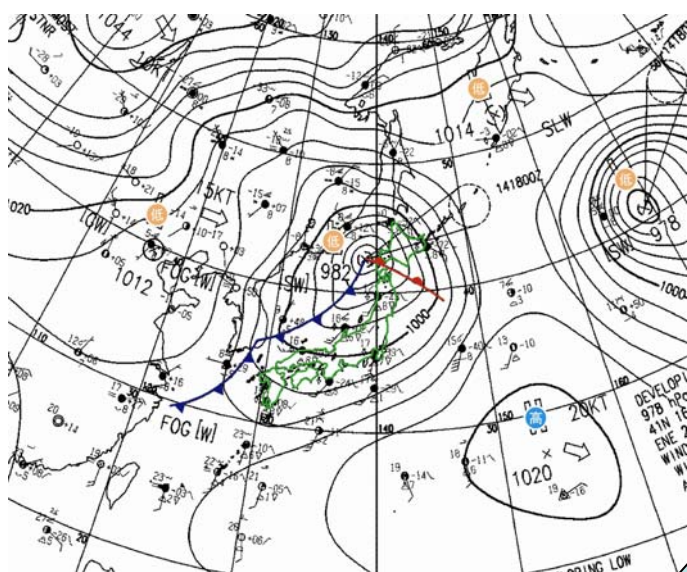
中部地方整備局

富士砂防事務所

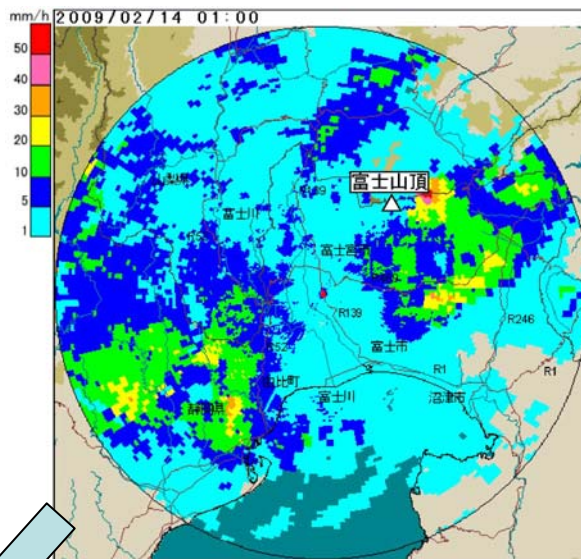
1. 概要

平成21年2月13日～14日にかけて、気象台の天気予報や観測機器のデータより、富士山周辺でスラッシュ雪崩の可能性が大きくなったものと判断し、カメラによる監視及び天候回復後にヘリコプターによる上空から発生状況調査を実施しました。

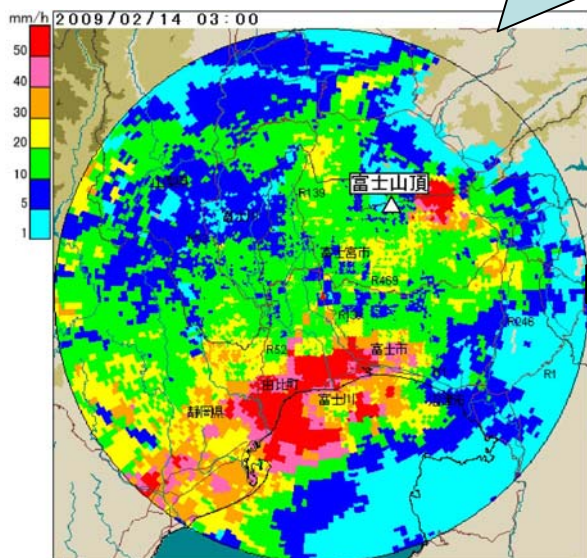
結果、カメラによる監視では異常は確認されませんでした。また、ヘリコプターによる調査では、富士山東側斜面で雪崩の痕跡が見られたものの、スラッシュ雪崩の発生による被害は確認されませんでした。



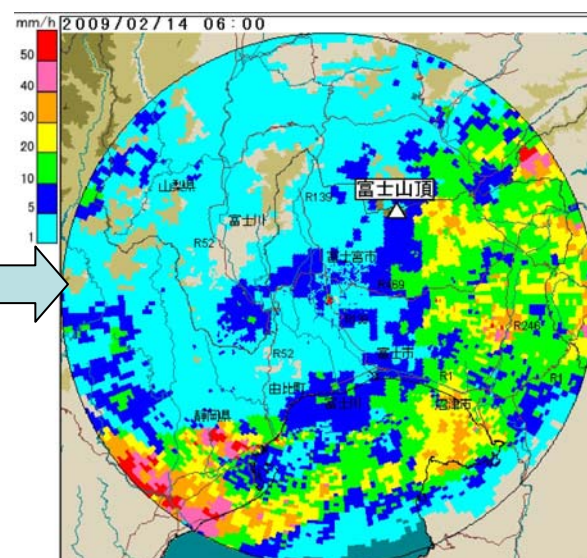
実況天気図 H21.2.14 3:00 (気象庁提供)



富士砂防レーダ画像H21.2.14 1:00



富士砂防レーダ画像 H21.2.14 3:00



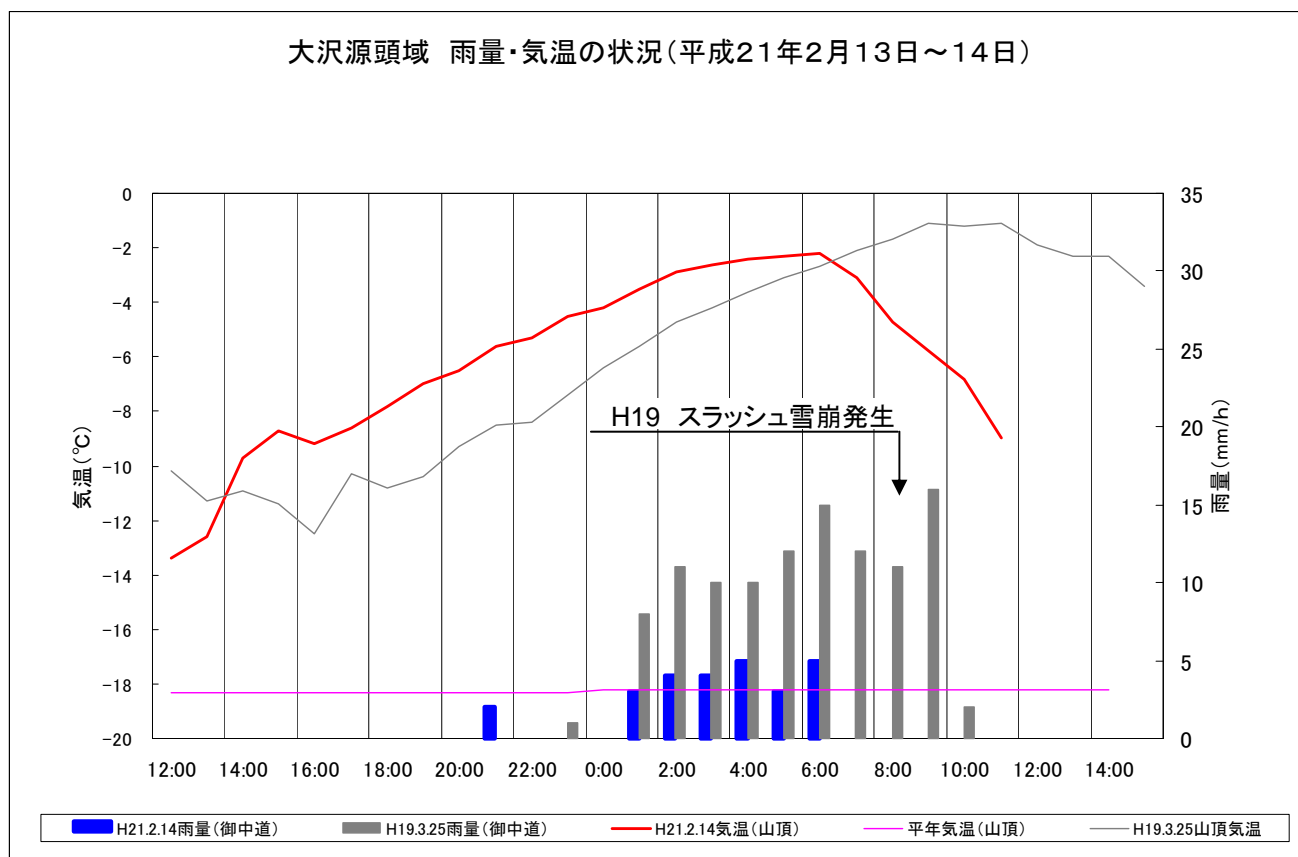
富士砂防レーダ画像 H21.2.14 6:00

2. 気象・降雨状況

平成21年2月13日～14日にかけて、富士山頂の気温は13日の最低気温マイナス13.4度からマイナス2.2度まで11.2度も上昇。

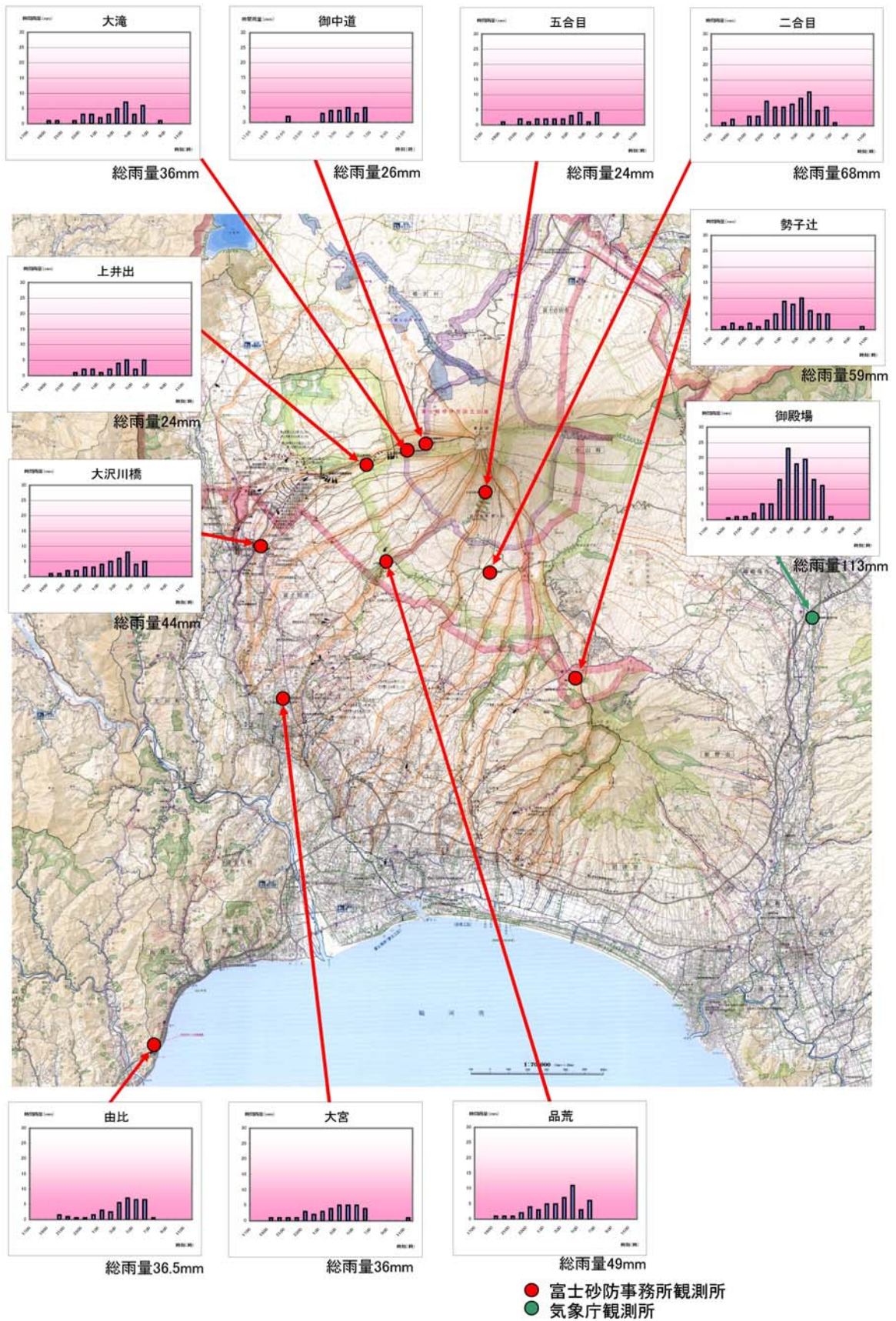
降水量は富士砂防事務所 御中道観測所(標高2,350m)で連続雨量26mmを観測。(降り始め13日21時、降り終わり14日6時)

(1) 富士山頂気温と御中道観測所における雨量



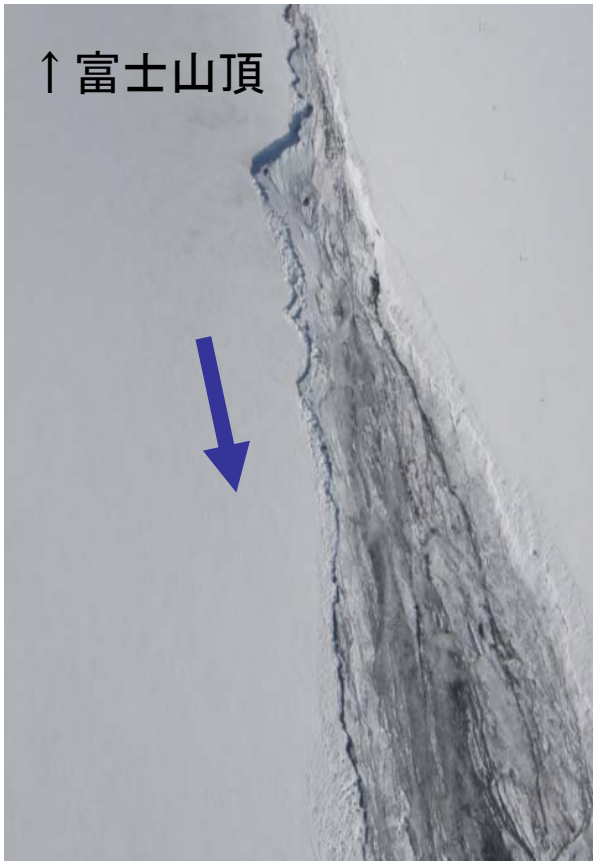
平成19年3月25日のスラッシュ雪崩発生時(灰色棒グラフ:雨量、灰色折線グラフ:気温)と比較しています。気温の上昇傾向が似ているものの、雨量は少なく、(大沢川上流の御中道観測所の連続雨量は26mm)このため大規模なスラッシュ雪崩や土石流が発生しなかったと考えられます。

(2)管内の降雨状況



3. ヘリコプターによる調査結果

ヘリコプターにより富士山周辺を上空から調査した結果、富士山東側斜面(太郎坊周辺)で雪崩の痕跡を確認したものの、スラッシュ雪崩による被害は確認されませんでした。



富士山東側斜面雪崩痕跡状況



ヘリコプター(まんなか号)



飛行経路等打合せ状況



